

| 議 事 録 | |
|--|---|
| 会 議 名 | 令和 7 年第 1 回犬山警察署協議会（定例会） |
| 日時・場所 | 令和 7 年 2 月 28 日（金）午後 4 時から午後 5 時 15 分までの間 |
| 出席者 | <p>1 委員 8 名（定数 8 名）</p> <p>佐藤 登 会長 梅村 淳副 副会長</p> <p>稲垣 圭次 委員 谷 繁祐樹 委員</p> <p>石田 芳弘 委員 田中 香代子 委員</p> <p>宮川 弘子 委員 タマナハ イケダ 委員</p> |
| | <p>2 警察署員 10 名</p> <p>水野署長 長谷川副署長 稲山警務課長</p> <p>石川会計課長 沢田地域課長 渋谷生活安全課長</p> <p>早川交通課長 加納警備課長 尾崎刑事課長</p> <p>住民サービス係長</p> |
| | <p>3 有識者等</p> <p>なし</p> |
| <p>1 委嘱状交付</p> <p>署長から再任及び新規委員に対して公安委員会からの委嘱状を交付した。</p> <p>2 会長及び副会長の選出等</p> <p>委員の互選により、佐藤委員を会長に選出され、会長は、梅村委員を副会長に指名した。</p> <p>3 会長、副会長挨拶</p> <p>4 署長挨拶</p> <p>5 報告内容</p> <p>管内の治安情勢</p> <p>6 前回の意見・要望に対する具体的施策の推進状況</p> <p>(1) 前回の協議事項</p> <p>特殊詐欺の未然防止と闇バイト応募の防止策</p> <p>(2) 前回の意見・要望</p> <p>ア 中学・高校生等に対し、安易な個人情報提出の怖さや闇バイト加担のリスク等の周知</p> <p>イ 高齢者等が参加する各種会合やイベント等を通して、特殊詐欺手口の積極的な周知の実施</p> <p>(3) 意見・要望に対する取組結果等</p> | |

ア リスク等の周知

(ア) 若年層向けに「闇バイトは犯罪」と明確にわかる広報チラシを作製し、同チラシを「二十歳の集い」の会場で配布した。

(イ) 管内の中学校、高校に薬物乱用教室と合わせて、闇バイトの怖さを啓発した。

(ウ) 幅広い世代に向け、犬山ハーフマラソンで走りながら広報を行うランニングポリスを実施した。

イ 手口の周知

(ア) 管内ラジオ局スタジオにて、防犯少年団と共に特殊詐欺被害防止の広報を実施。

(イ) 犬山市役所に防犯少年団と共に特殊詐欺被害防止のキャンペーンを実施した。

(ウ) 管内ラジオ局にて、有名タレントが署長と共にラジオの生放送に出演し特殊詐欺の被害防止と闇バイト対策についての広報を実施した。

(エ) 犬山市役所で有名タレントが特殊詐欺の被害防止と闇バイト対策の広報を実施した。

7 協議事項

大規模災害に向けて警察活動に望むこと

8 発言の要旨

- ・ 市役所・消防署・愛知県建設事務所等と平常時から連携訓練が必要である。
- ・ 緊急対応可能な地元建設業者との連携・連絡網の構築が必要である。
- ・ 災害に便乗した盗難や略奪等の犯罪を抑止し、治安を確保するためパトロールを強化する等迅速な対応が必要である。
- ・ 道路の陥没や信号機の倒壊箇所や負傷者など被災状況を把握するため自治体や医療機関等関係機関と連携し情報共有が必要である。
- ・ 救急車や消防車等の緊急車両の交通道路を確保するため、交通規制や交通整理が必要である。
- ・ 大規模災害に遭遇したとしたら大変心細くなると思うので、女性警察官に避難所に来てもらおうとやすらぐと思う。
- ・ 外国人と日本人の生活習慣が違うので、避難所では分けると良いと思う。

9 意見・要望

(1) 関係機関との連携と情報共有に関する対策の実施

(2) 被災道路の交通確保に関する対策の実施

10 その他

速度等取締指針の説明